

## 目標と実績

積水ハウスがCSR活動の  
具体的指標としている  
社会性目標と環境目標を  
一覧表にまとめました



### 社会性目標と実績

- ▶ CSR方針と体制
- ▶ お客様のために
- ▶ 従業員、取引先のために
- ▶ 株主、地域社会のために

### 環境目標と実績

- ▶ 約束1(生活時・生産時 のCO<sub>2</sub>排出量削減)
- ▶ 約束2(生態系ネットワーク の復活)
- ▶ 約束3(資源循環の取り組み)
- ▶ その他

CSR方針と体制

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

CSR推進体制と浸透

2010年度目標	職制別、各階層別集合研修とグループ会社への集合研修を継続。繰り返し愚直にCSR意識の向上を図る。	
2010年度の実績、コメント	全国の事業所や主要グループ会社での職制別、階層別集合研修を実施。「企業倫理月間」では新しいグループ討議用事例を設定し、職場での意識を喚起。事業活動の国際化、ならびに社会環境の変化に合わせて「企業行動指針」「企業倫理要項」を改定。改定内容を「企業倫理月間」に周知徹底しました。また、e-ラーニングを活用した「サステナビリティレポート理解度テスト」を実施。CSR・環境活動に対する理解を一層深め、従業員一人ひとりの実践につなげることができました。	○
関連する取り組み	■コンプライアンス推進活動	
2011年度目標	職制別、各階層別集合研修とグループ会社への集合研修を継続。繰り返し愚直にCSR意識の向上を図る。	

2010年度目標	事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速し、取り組みレベルをさらに向上させる。種々の研修等を通じて、風通しのよい企業風土を醸成するキーパーソンはリーダーであるとの意識を徹底させ、上長と一般社員の意識の乖離を縮めていく。	
2010年度の実績、コメント	2010年度も、企業理念・コンプライアンス、環境、社会貢献・地域貢献、CS・ES・SS向上の各分野における目標の設定と実績を定例会議で検証し、イントラネットで共有。それらを生かした改善活動の推進により事業所ごとの取り組みレベル差を改善することができました。	○
関連する取り組み	■事業所におけるCSR推進	
2011年度目標	引き続き、事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速し、取り組みレベルをさらに向上させる。種々の研修等を通じて、風通しのよい企業風土を醸成するキーパーソンはリーダーであるとの意識を徹底させ、上長と一般社員の意識の乖離をさらに縮めていく。	

コンプライアンス・マネジメント

2010年度目標	「ガバナンス意識調査」の結果による各支店のマネジメント状況を検証し、PDCAのサイクルを回していく。誓約書取得等の継続活動と企業倫理チェックツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる。	
2010年度の実績、コメント	2010年度もグループの全役員、従業員から「企業倫理要項」等を遵守する旨の誓約書を取得。また、各支店のマネジメント状況を検証する「ガバナンス意識調査」を実施。営業部門全社員からアンケートを取得し、分析の上、「支店経営強化研修」でマネジメントスタイル気付きのツールとして実践的に活用しました。	○
関連する取り組み	■「企業倫理要項」の遵守 ■コンプライアンス推進活動 ■CSRマネジメントツール	
2011年度目標	「ガバナンス意識調査」の結果による各支店のマネジメント状況を検証し、PDCAのサイクルを回していく。「企業倫理月間」、誓約書取得等の継続活動を愚直に実施し、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる。	

2010年度目標	人権擁護について、引き続き事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはぐむべく研修を実施。セクハラ・パワハラ相談窓口担当者の対応能力を高めるとともに	
----------	--	--

	ヒューマンリレーション室との連携を強化し、現場に即応できる体制を構築。	
2010年度の実績、コメント	グループ会社を含む全従業員に「ヒューマンリレーション研修テキスト」を配布し、事業所長が講師となって全従業員へのヒューマンリレーション研修を実施。 セクハラ・パワハラ相談窓口についてはグループ会社を含めた全事業所に担当者を配置。グループ会社と各事業所の新任担当者ならびに継続担当者を対象に研修を実施。また、全従業員に配布する相談窓口を紹介する小冊子の記載内容を、よりわかりやすい表示に変更しました。	○
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンリレーション推進体制 <input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンリレーション研修 <input checked="" type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談窓口	
2011年度目標	事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはぐくむべく研修を実施。セクハラ・パワハラ相談窓口担当者の対応能力を高めるとともにヒューマンリレーション室との連携を強化し、現場に即応できる体制を構築。	

2010年度目標	工事進行基準の採用に基づく業務ルールの適正運用を重点テーマとして取り組む。	
2010年度の実績、コメント	新しい業務ルールを適正に運用。2010年度にコンプライアンス上の大きな問題は発生しませんでした。	○
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> コーポレートガバナンス・内部統制システム	
2011年度目標	「内部統制システム」の運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む。	

## 社会とのコミュニケーション

2010年度目標	見学会、フォーラム等の開催を継続して行う。サステナビリティレポートを活用した意見交換会など、ステークホルダーとの対話機会を創出。	
2010年度の実績、コメント	「ゼロエミッションセンター」の2010年度社外来訪者数2万548人（2008年の開設からの累計来場者数4万9329人）。サステナビリティレポートを活用するなどした意見交換会を実施。「サステナブルデザイン ラボラトリー」でのサステナブルな暮らしについての様々なワークショップ、CSR関連有識者意見交換会、一般見学会などを開催。社外来訪者は累計3556人。	○
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」 <input checked="" type="checkbox"/> ステークホルダーとの対話 <input checked="" type="checkbox"/> 「サステナブル デザイン ラボラトリー」	
2011年度目標	見学会、フォーラム等の開催を継続して行う。サステナビリティレポートを活用した意見交換会など、ステークホルダーとの対話機会を創出。	

■ お客様のために

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

お客様満足の上

2010年度目標	創立50周年を迎えることができたのはお客様のおかげであるという感謝の気持ちを社員全員が胸に刻み、お客様と接していく。支店、カスタマーセンターによる相対コミュニケーションはもちろん、WEBや情報誌など、あらゆるチャンネルを通じてオーナー様とのコミュニケーションを強化し、さらなるお客様満足向上を目指す。	○
2010年度の実績、コメント	「Netオーナーズクラブきずな」(登録数約14万9000世帯)の運営に注力。よりオーナー様の声を反映できる制作・運営体制とし、月2回のコンテンツ更新で情報の鮮度を向上。オーナー向け情報誌の定期発行とアンケートの実施。アンケート結果は分析し改善に活用。	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CS(お客様満足)に関する方針と体制</li> <li>■ お客様アンケートの分析とフィードバック</li> <li>■ オーナー様とのコミュニケーションツール</li> </ul>	
2011年度目標	お客様への感謝の気持ちを社員全員が胸に刻み、お客様と接していく。支店、カスタマーセンターによる相対コミュニケーションはもちろん、WEBや情報誌など、あらゆるチャンネルを通じてオーナー様とのコミュニケーションを強化し、さらなるお客様満足向上を目指す。	

サステナブル社会の実現と住宅の長寿命化

2010年度目標	オーナー住宅買取再生事業「エバーループ」の理解・浸透を図り、資源の有効活用と住宅の長寿命化、既設住宅の取引市場の形成に貢献。	
2010年度の実績、コメント	「エバーループ参観日」を73会場で開催し、新しい試みを周知。買取実績は累計147件(前年度比12件増)。ストック事業部を中心に、積和不動産、積水ハウスリフォームなどの当社グループの連携を高めました。	△
関連する取り組み	■ 「エバーループ」～オーナー住宅買取再生事業	
2011年度目標	オーナー住宅買取再生事業「エバーループ」の理解・浸透を図り、資源の有効活用と住宅の長寿命化、既設住宅の取引市場の形成に貢献。	

2010年度目標	環境に配慮した創エネ・省エネリフォームを積極的に推進。当社物件、一般物件とも一層の事業拡大を図る。	
2010年度の実績、コメント	ライフステージに適した提案に加え、環境に配慮した創エネ・省エネリフォームの積極提案によりリフォーム実績が増加。当社物件のリフォーム実績は543億円(前年度比14.3%増)、在来木造等の一般物件リフォームも含めると合計で914億円の実績となりました。	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 循環型社会の形成につながるリフォーム事業</li> <li>■ 創エネ・省エネリフォーム</li> </ul>	
2011年度目標	環境に配慮した創エネ・省エネリフォームを積極的に推進。当社物件、一般物件とも一層の事業拡大を図る。	

安全・安心・快適な住まいづくり

2010年度目標	「いつもいまが快適」をテーマにあらゆる世代を通じて、誰もが使いやすい部材と住みやすい空間づくりの提案を推進。	
2010年度の実績、コメント	子どもの健やかな成長のための「キッズでざいん」の取り組みにおいて「第4回キッズデザイン賞」を全6部門、11項目が受賞し、多彩な取り組みが評価されました。「サステナブル デザイン ラボラトリー」	○

	は、<フューチャープロダクツ部門>で優秀賞を受賞しました。	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主な表彰実績</li> <li>■ ユニバーサルデザインから「スマートユニバーサルデザイン」へ</li> </ul>	
2011年度目標	「いつもいまが快適」をテーマにあらゆる世代を通じて、誰もが使いやすく心地よい「スマート ユニバーサルデザイン」の住まいづくりを推進。	
2010年度目標	総合住宅研究所の「納得工房」、全国6か所に設置する「住まいの夢工場」など、工夫を凝らした体験型学習施設を各エリアで有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポート。	
2010年度の実績、コメント	リニューアル等により内容がさらに充実。来場者数も2009年度より大幅にアップしました。 体験型学習施設の来場者数:「納得工房」4万4414人、「住まいの夢工場」11万6990人、「住まいの家学館」4万1450人。	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ R&amp;Dの拠点「総合住宅研究所」</li> <li>■ 「コンサルティング・ハウジング」</li> </ul>	
2011年度目標	総合住宅研究所の「納得工房」、全国6か所に設置する「住まいの夢工場」など、工夫を凝らした体験型学習施設を各エリアで有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポート。	
2010年度目標	2010年度は、環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」の拡販に注力し、年間1000棟の受注、全体の20%を目指す。	
2010年度の実績、コメント	太陽光発電システムを搭載した環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」は2009年3月に発売して以来、受注が好調に推移し、2010年度受注実績は業界最多の890棟。当社が業界に先駆けて始めた、入居者が売電メリットを享受できる物件が順調に増えています。一括借上・管理室数47万2570室、入居率95.0%。入居者向け総合サービス「MASTクラブ」会員は約44万6000人。個性化・多様化しているニーズに応え、「MASTクラブ」会員にはポイントによる特典や、暮らしをサポートするサービスを用意するなど付加価値を高め、管理戸数は順調に増加。	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 賃貸住宅における入居者満足の向上</li> <li>■ オーナー様・入居者双方にメリットのある賃貸住宅の提案</li> </ul>	
2011年度目標	2011年度は、環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」の拡販に注力し、全体の25%を目指す。	

コミュニティの形成と地域文化の継承

2010年度目標	「まちづくり憲章」、「まちづくり指針」に基づき、「経年美化」をテーマに良質な「まち」をつくり、「まちなみ参観日」を実施。「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート。	
2010年度の実績、コメント	4月と10月に実施した2回のまちなみ参観日において戸建住宅は109会場567棟、マンションは25会場464戸を供給。「環境共生住宅」の認定や「5本の樹」計画などを取り入れて「まちづくり憲章」、「まちづくり指針」に基づく良質な「まち」を供給。また、分譲地や分譲マンションなど、団体内のコミュニティ形成を支援する「隣人祭り」の開催数は96回。住民同士のコミュニケーションを創出し、コミュニティづくり、地域文化継承を図りました。	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「まちづくり憲章」</li> <li>■分譲住宅フェア「まちなみ参観日」</li> <li>■「経年美化」のまちづくり</li> <li>■「ひとえん」によるコミュニティ醸成</li> <li>■「n×豊か」のまちづくり</li> <li>■賃貸住宅のまちづくり</li> <li>■マンション・都市開発の実例</li> </ul>	
2011年度目標	「まちづくり憲章」、「まちづくり指針」に基づき、「経年美化」をテーマに良質な「まち」をつくり、「まちなみ参観日」を実施。「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート。	

■ 従業員、取引先のために

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

従業員とともに

2010年度目標	「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう具体的施策を実行（職務面談、評価制度の改訂等）	○
2010年度の実績、コメント	従業員のやりがい、納得度を高めるべく、評価制度を一部改訂。「人」と「会社」がともに成長し、企業理念の「私たちの基本姿勢～真実・信頼」に基づく活力あふれる組織風土がさらに強化されつつあります。	
関連する取り組み	■ 人事基本方針	
2011年度目標	「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう具体的施策を実行（職務面談、評価制度の改訂等）	

2010年度目標	女性活躍のさらなる推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革。</li> <li>「最高のおもてなし」の実現に向け、展示場接客担当者のモチベーションアップ・スキルアップを推進。全国ネットワークの構築。</li> </ul>	○
2010年度の実績、コメント	女性営業職の積極採用を続けて7年目を迎えます。継続採用の効果として、優秀な業績を挙げながら、結婚、出産、育児を経験した従業員が徐々に増加。引き続き、スキル、メンタル両面からの支援を拡充します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>女性営業職の結婚、出産、育児については、本人と職責者や女性活躍推進グループリーダーが面談を行い、個別に柔軟な働き方の対応を実施。</li> <li>女性管理職は増加し、グループで28人となりました。</li> <li>展示場接客担当者に全国で研修・勉強会を実施。モチベーション、スキルアップに努めました。</li> </ul>	
関連する取り組み	■ 子育てと仕事との両立を支援 ■ 女性営業職の積極採用、支援 ■ 女性の管理職への登用 ■ 展示場接客担当者へ向けた取り組み ■ 「リフォームアドバイザー」の積極採用 ■ 育児休業制度や介護休業制度などの利用状況	
2011年度目標	女性活躍のさらなる推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革。</li> <li>「最高のおもてなし」の実現に向け、展示場接客担当者のモチベーションアップ・スキルアップを推進。全国ネットワークの構築。</li> </ul>	

2010年度目標	多様な人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>職群転換（チャレンジ）制度の実施と職群転換者へのフォローアップ</li> <li>退職者復職登録制度の実施継続による経験者の有効活用</li> <li>社内人材公募制度の実施による社内人材の有効活用</li> <li>法定雇用率を充足する障がい者雇用の推進</li> </ul>	△
2010年度の実績、コメント	自身の能力を最大限に活かせる職群転換制度（一般事務職群および生産技能職群から、営業技術職群（総合職）への職群転換）により5人が職群転換し、これまでに83人が転換しました。退職者復職登録制度については、2人が復職。人材公募制度では4案件に239人が応募、23人が異動。従業員の活躍のチャンスを広げ、新規事業の担い手になるなど組織の活性化へつながっています。	

	障がい者雇用率は、適用除外率が30%から20%に引き下げられたことにより、2011年2月時点で1.66%となりました。営業部門、管理部門ごとに雇用目標を設定し、改善に努めるとともに、障がい者を含めたすべての従業員が活力にあふれ、仕事に取り組むことができる企業を目指しています。	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積立年休、退職者復職登録、職場復帰支援、ボランティア休職制度</li> <li>■ 社内公募制度</li> <li>■ 障がい者雇用の推進</li> </ul>	
2011年度目標	<p>社内諸制度の利用促進と、多様な人材活用を進め、障がい者の採用は喫緊の課題として取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職群転換(チャレンジ)制度の実施と職群転換者へのフォローアップ</li> <li>・ 退職者復職登録制度の実施による経験者の有効活用</li> <li>・ 社内人材公募制度の実施による社内人材の有効活用</li> <li>・ 法定雇用率を充足する障がい者雇用の推進</li> </ul>	

2010年度目標	<p>多様な働き方とワーク・ライフ・バランスの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両立支援制度の充実および浸透</li> <li>・ 次世代育成支援対策推進法についての第3期行動計画の活動を継続</li> <li>・ 業務改善による生産性の向上、メリハリのある働き方の推進による活力溢れる職場環境の構築</li> <li>・ 労務管理コンプライアンスの徹底</li> </ul>	
2010年度の実績、コメント	<p>次世代育成支援対策推進法について、第3期行動計画の活動を実施。</p> <p>両立支援に関して、法律を上回る支援制度の充実と浸透によって、男性育児休業取得者は昨年よりやや減少したものの、女性育児休業取得者は81人から87人に、短時間勤務制度の利用者は105人から164人へ増加。</p> <p>また、人材マネジメントに関する研修により、働き方の変革や業務改善による生産性の向上を促進。</p> <p>社内誌や社内HPでの事例紹介等を行なうことにより、ワーク・ライフ・バランスを意識した社内風土の醸成を推進。</p> <p>また、労務管理コンプライアンスについては法改正への対応を研修、監査などで徹底しました。</p>	△
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子育てと仕事との両立を支援</li> <li>■ 積立年休、退職者復職登録、職場復帰支援、ボランティア休職制度</li> <li>■ 育児休業制度や介護休業制度などの利用状況</li> <li>■ 人材マネジメント説明会</li> </ul>	
2011年度目標	<p>労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両立支援制度の充実および浸透</li> <li>・ 次世代育成支援対策推進法についての第3期行動計画の活動を継続</li> <li>・ 業務改善による生産性の向上、メリハリのある働き方の推進による活力溢れる職場環境の構築</li> <li>・ 労務管理コンプライアンスの徹底</li> </ul>	

2010年度目標	<p>労働安全衛生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業所の安全活動を全社で共有化し、災害防止活動を推進することで、労働災害を低減</li> <li>・ 各事業所の安全衛生委員会の積極活用</li> <li>・ 安全活動と災害防止活動の推進</li> <li>・ メンタルヘルス研修の充実及び全従業員の継続受講</li> </ul>	
2010年度の実績、コメント	<p>業務災害42件(前年度比3件増)、通勤災害12件(6件減)。施工安全衛生研修・教育を延べ5万1057人が受講。従業員の安全意識、労働衛生意識の向上を目的に、全国安全週間、全国労働衛生週間には標語、ポスター図案を募集。従業員からの応募だけでなく、家族からの応募も年々増加。</p> <p>全従業員が受講するヒューマンリレーション研修においてメンタルヘルスを重要テーマとし、コミュニケーションの充実とセルフケアの有効性について理解を深めました。</p>	○



関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶メンタルヘルスマネジメント</li> <li>▶労働災害発生状況</li> <li>▶労働安全衛生マネジメントシステム</li> <li>▶施工現場での労働安全衛生確保</li> <li>▶職場での労働環境の改善</li> <li>▶安全衛生教育研修</li> <li>▶ヒューマンリレーション研修</li> </ul>
2011年度目標	<p>各事業所の安全衛生委員会等の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所の安全活動を全社で共有化し、災害防止活動を推進することで、労働災害を低減</li> <li>・各事業所の安全衛生委員会の積極活用</li> <li>・安全活動と災害防止活動の推進</li> <li>・メンタルヘルス研修の充実及び全従業員の継続受講</li> </ul>

協力工事店、取引先とともに

2010年度目標	取引先との健全な関係を継続するため、グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底	△
2010年度の実績、コメント	グループ全体に「企業行動指針」、「企業倫理要項」を徹底。訓練校で協力工事店・積和建設の現場管理者や技能者を養成。累積卒業生数2131人。2010年度は全従業員を対象に「下請法」に関する研修を実施。また、取引先を対象に当社グループの経営概況や、購買方針等を説明する方針説明会を開催。仕入れの上流部分に対する基準として、「化学物質ガイドライン」や「木材調達ガイドライン」を運用しており、サプライヤーとの双方向コミュニケーションを重視して、改善を継続。	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶施工品質向上のために</li> <li>▶化学物質の管理</li> <li>▶「木材調達ガイドライン」の運用</li> <li>▶取引先とのコミュニケーション</li> </ul>	
2011年度目標	取引先との健全な関係を継続するため、双方向コミュニケーションを重視し、共存共栄の実現を目指す。グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底。	

■株主、地域社会のために

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

株主とともに

2010年度目標	中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。2010年度は中間・期末配当各8円、50周年記念配当5円の通期21円を予定。	
2010年度の実績、コメント	2010年度は50周年記念配当を実施し、通期の1株当たり配当金は21円となりました。長期保有の促進を目指す株主優待制度としては、引き続き株主優待ポイント制度及び贈呈制度を実施。贈呈制度においては10月末に、1月末日に記載の株主に「魚沼産コシヒカリ5kg」を送付。なお、株主優待贈呈時のご辞退などのお米3480kgを株主様のご理解のもと「(社福)全日本手をつなぐ育成会」等の様々な施設へ寄付。また、株主サービスとして引き続きIRニュースメールの配信を実施。	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業・IR情報 □</li> <li>■ 株主とのコミュニケーション</li> </ul>	
2011年度目標	中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。2011年度は、第2四半期末配当10円、期末配当10円の通期20円を予定。	

住文化向上・教育支援

2010年度目標	地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力。	
2010年度の実績、コメント	「すまい塾こだわり講座」のノウハウを生かし、各地域に応じたカリキュラムにより全国の事業所で「すまい塾」を展開。インターネットを活用した学習プログラム「Webすまい塾」も用意し、受講者が増加。受講者数:「すまい塾公開講座」730人、「すまい塾こだわり講座」54人、全国事業所「すまい塾」42ヶ所741人。「Webすまい塾」の申込は466件。 NPO法人西山文庫「すまい・まちづくりフォーラム」の開催に協力。産学の連携と大学間での学生の交流を図ることで、若きデザイナーの育成を目的とした「地球にやさしい住生活デザインコンペティション」を実施。2010年度は全国63大学から267作品の応募がありました。	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住まいづくりの教室「すまい塾」の開催</li> <li>■ NPO「西山卯三記念すまい・まちづくり文庫」への協力</li> <li>■ 「地球にやさしい住生活デザインコンペティション」の開催</li> </ul>	
2011年度目標	地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力。	

2010年度目標	体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大。	
2010年度の実績、コメント	学生の見学者数:納得工房4178人、住まいの夢工場2213人、住まいの家学館148人。職場体験や講師派遣を144回2430人に実施。「新・里山」での小学生・幼稚園児への授業を7回、延べ292人に実施。大学生が対象の「住まい体験学習」は18大学346人を受け入れ。職場体験や講師派遣のニーズの増加に伴い、全国の事業所での協力数も増加。「エコ・ファーストの約束」に基づく三つの環境教育プログラム、(省エネ生活についての「いえコロジー」セミナー、生態系保全についての「Dr. フォレストからの手紙」、資源循環についての「トレジャーハントツアー」)を実施。「納得工房」の見学、体験学習では多様な施設や設備を活用して、学校からの幅広い要望に対応しながら実施。	○
関連する取り組み	■ 総合住宅研究所の教育貢献活動	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体験教育の機会を提供する「住まいの夢工場」</li> <li>■ 各地の教育貢献</li> <li>■ 環境教育プログラムの実施</li> <li>■ 新梅田シティ「新・里山」での教育貢献</li> </ul>
2011年度目標	体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大。

## 地域社会への貢献

2010年度目標	社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により全体的な取り組みレベルの底上げを図る。	
2010年度の実績、コメント	<p>ボランティア情報の発信や社会貢献活動社長表彰の実施で情報共有。全国でのボランティア実施数も増加して、社会貢献活動も活発になり、地域独自の取り組みが広がりました。活動の方法など全国での情報共有をさらに進めます。SELP製品のノベルティへの採用の意義も浸透。</p> <p>ボランティア延べ5539件実施、延べ1万8502人参加。従業員からの災害義援金など551万円。チャリティイベントなどの寄付金額474万円。こどもの日チャリティでの外貨などの寄贈24万円。SELP製品をノベルティとして2万9414個採用。障害者週間行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催。</p>	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会貢献活動社長表彰</li> <li>■ 各地へ広がる収集ボランティア</li> <li>■ SELP製品の販売協力、ノベルティ採用</li> <li>■ 障害者週間行事への参画</li> <li>■ 災害義援金</li> <li>■ チャリティフリーマーケットの実施</li> <li>■ こどもの日チャリティイベントへの協力</li> </ul>	
2011年度目標	社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により全体的な取り組みレベルの底上げを図る。	

2010年度目標	第5回は30団体へ1783万円を助成予定。従業員の活動理解と参加を促進するため、社内外への広報活動を強化。	
2010年度の実績、コメント	<p>「積水ハウスマッチングプログラム」の認知度は向上し、会員数は約1700人。助成公募数、助成団体数、助成金額も増加。こども基金が「第4回キッズデザイン賞」&lt;ソーシャルキッズサポート部門&gt;を受賞。</p> <p>第5回は30団体へ1783万円助成。第6回公募には141プログラムが応募。</p>	○
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 従業員と会社の共同寄付制度「積水ハウスマッチングプログラム」</li> </ul>	
2011年度目標	第6回は29団体に1566万円を助成。従業員の活動理解と参加を促進するため、社内外への広報活動を強化。	

■ 約束1. 生活時及び生産時のCO<sub>2</sub>排出量削減を積極的に推進します

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

居住時CO<sub>2</sub>削減

2010年度目標	戸建住宅太陽光発電システム契約1万棟	
2010年度実績	太陽光発電システム搭載 ・ 戸建住宅1万931棟契約	
実績に対するコメント	各種補助金や余剰電力買取り制度の認知普及と、研修等による全事業所への販売方法の落とし込みを図るなどして、太陽光発電システム搭載の「グリーンファースト」実績を目標以上に伸ばし業界トップに。2011年度は戸建住宅での更なる推進に加え、賃貸住宅での太陽光発電普及も図ります。	○
関連する取り組み	■ 太陽光発電システムの普及促進	
2011年度目標	太陽光発電システム搭載 ・ 戸建住宅1万2000棟契約目標	

2010年度目標	燃料電池「エネファーム」契約2400台	
2010年度実績	燃料電池搭載住宅2974台契約	
実績に対するコメント	国の補助金の積極的利用や都市ガス地区だけでなくLPガス地区へも販売エリアを広げるなど、積極的な「グリーンファースト」販売推進により業界最多の契約実績、シェアの40%以上を占める結果となり、普及に大きく寄与しました。今後もお客様とともにCO <sub>2</sub> 削減に寄与する燃料電池導入を推進します。	○
関連する取り組み	■ 「アクションプラン20」から「グリーンファースト」へ ■ 燃料電池の普及促進	
2011年度目標	燃料電池3500台契約目標	

2010年度目標	開口部の断熱リフォーム面積 8万618m <sup>2</sup> 、高効率給湯器の設置棟数 4500棟、太陽光発電システム設置棟数 2000棟、省エネバスリフォーム 4000セット	
2010年度実績	開口部の断熱リフォーム面積 7万4344m <sup>2</sup> 、高効率給湯器の設置棟数 3691棟、太陽光発電システム設置棟数 1634棟、省エネバスリフォーム 3217セット	△
実績に対するコメント	太陽光発電システム、開口部の断熱リフォームの実績は、2010年度比でそれぞれ約2.3倍、約2.0倍と著しい伸びを示しました。一方、高効率給湯機の設置棟数、省エネバスリフォームについては、前年度とほぼ同じ実績でした。	
関連する取り組み	■ 創エネ・省エネリフォーム	
2011年度目標	開口部の断熱リフォーム面積 10万4400m <sup>2</sup> 、高効率給湯器の設置棟数 4800棟、太陽光発電システム設置棟数 2900棟、省エネバスリフォーム 4850セット	

2010年度目標	環境共生住宅800戸	
2010年度実績	環境共生住宅687戸	
実績に対するコメント	環境共生住宅の目標供給数を達成することができませんでしたが、太陽光発電や燃料電池を搭載する「グリーンファースト」仕様の環境共生住宅を中心に供給しました。	×
関連する取り組み	■ 環境共生住宅	
2011年度目標	700戸	

2010年度目標	「いえコロジー」セミナーをはじめとする省エネ生活普及教育活動を50	
----------	-----------------------------------	--

	回実施	
2010年度実績	「いえコロジー」セミナーをはじめとする省エネ生活の普及を目的とした出張授業、セミナー等を73回実施	○
実績に対するコメント	事業所との連携強化、認知度向上等から、実施回数が増えました。	
関連する取り組み	環境教育プログラムの実施	
2011年度目標	「いえコロジー」セミナーをはじめとする省エネ生活普及教育活動を80回実施	

## 事業活動、生産時のCO<sub>2</sub>削減

2010年度目標	工場生産(輸送含む)で出荷m <sup>2</sup> あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を2006年度比で4.5%削減	
2010年度実績	2006年度比 2.4%の削減	△
実績に対するコメント	生産では乾燥炉の保温強化を図ると共に、照明の効率的な利用やエネルギー消費機器を高効率機器へ更新する等により、順調に削減が進みましたが、輸送における削減が思ったより進まず、2006年度比2.4%の削減にとどまりました。	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 生産時のエネルギー消費 <input checked="" type="checkbox"/> 輸送時のエネルギー消費	
2011年度目標	生産及び輸送に関わる出荷m <sup>2</sup> あたりのCO <sub>2</sub> 排出量をそれぞれ2010年度比で3%削減	

2010年度目標	事業所エネルギー削減計画の策定とその取り組みの開始	
2010年度実績	全事業所エネルギー把握の精緻化と共に、社員意識の向上	○
実績に対するコメント	全事業所エネルギー調査実施の報告定着化により、社員のエネルギー実態把握の意識向上。新梅田シティでの実証事業が「チャレンジ25地域づくり事業」(環境省)に採択。	
関連する取り組み	事務所での省エネ推進活動	
2011年度目標	「夏季ピーク電力15%カット」自主行動宣言に基づく行動の徹底	

2010年度目標	低燃費車割合85%	
2010年度実績	低燃費車割合を90.4%(業務車両約220台削減。1300CCの採用1367台(昨年比1.4倍))	○
実績に対するコメント	業務車両の台数については、社内でのカーシェアリングを進めるなど、効率的な運行を推進。燃費性能の高い車両の積極的導入、車種を変更。平成20年7月から、一般社員乗用車を1500CCから、1300CCの採用を推進しました。	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 事務所での省エネ推進活動 <input checked="" type="checkbox"/> エコ車両の導入とエコ安全ドライブの推進	
2011年度目標	入れ替え車両は随時低燃費車にシフト	

■ 約束2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

材料調達時の生態系への配慮

2010年度目標	Sランク木材の増加とCランク木材の削減	○
2010年度実績	Sランク木材の調達割合 40%⇒56% Cランク木材の調達割合 22%⇒6%	
実績に対するコメント	違法伐採リスクが高いエリアからの調達を削減、リスクが低いエリア、木廃材活用の推進等により、全体の調達レベルが向上しました。来年度はより一層のレベル向上を目指し、ガイドラインの更新も行いたいと思います。	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「木材調達ガイドライン」の運用</li> <li>▶ 熱帯林材利用の廃止</li> <li>▶ 木材の循環利用を推進</li> </ul>	
2011年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「木材調達ガイドライン」の改訂</li> <li>・ 森林認証制度のCoC認証取得</li> </ul>	

住宅の植栽を通じた生態系保全

2010年度目標	年間植栽本数100万本	△
2010年度実績	年間植栽本数91万本	
実績に対するコメント	「5本の樹」計画によるエクステリア事業推進の効果もあり、年間植栽本数を71万本から、91万本に大幅に増大	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 住まいの緑化を提案</li> <li>▶ 「5本の樹」計画の推進</li> </ul>	
2011年度目標	年間植栽本数100万本	

2010年度目標	生物多様性の大切さを伝える環境教育プログラム「Dr.フォレストからの手紙」の継続実施	○
2010年度実績	出張授業(15校約920人)実施。120人以上の方を対象に、教職員向けの研修(4回)、オーナー様、一般向けのイベントを実施	
実績に対するコメント	小中高校生への環境教育プログラムの教材提供と授業実施。生物多様性の大切さを伝えるための体験型教育プログラム。イベントなどでも、地域への社会貢献とコミュニケーションを図りました。	
関連する取り組み	▶ 環境教育プログラムの実施	
2011年度目標	地域事業所との連携強化で継続実施	

2010年度目標	「まちなみ参観日」分譲販売物件すべてに「5本の樹」計画の樹種を植栽	○
2010年度実績	「まちなみ参観日」分譲販売物件全てに「5本の樹」計画の樹種を植栽	
実績に対するコメント	春と秋に行われた「まちなみ参観日」物件すべてで、「5本の樹」計画樹種を植栽することができました。	
関連する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 分譲住宅フェア「まちなみ参観日」</li> <li>▶ 「5本の樹」計画の推進</li> </ul>	
2011年度目標	「まちなみ参観日」販売物件で植栽を継続実施	

## 教育活動

2010年度目標	和歌山「企業の森」の継続実施、他の地域での活動実施	○
2010年度実績	和歌山「企業の森」活動3月、10月の2回実施	
実績に対するコメント	10月には、中辺路森林組合の協力により、鹿の食害などから植栽を守る手法、「パッチ植栽」を3か所で導入実施しました。	
関連する取り組み	<a href="#">▶「企業の森」制度への参加</a>	
2011年度目標	「パッチ植栽」を継続実施	

■ 約束3. 資源循環の取組みを徹底的に推進します

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

生産・施工時の資源循環

2010年度目標	工場生産時の廃棄物発生量 2009年度比3%削減	
2010年度実績	2009年度比 2.6%の削減	
実績に対するコメント	オリジナルコンクリート外壁の増産に伴いコンクリートくずの排出量が増えましたが、排出物量全体の約78%を占める木くず・金属くず・汚泥は出荷面積当たりの排出量が、それぞれ前年比92%、86%、83%と削減することができました。今後も継続して材料歩留まりの向上を図ります。	△
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 工場ゼロエミッションの取り組み	
2011年度目標	出荷面積当たりの工場生産時の2010年度比3.0%	

2010年度目標	生産・施工廃棄物のマテリアルリサイクル率88%	
2010年度実績	マテリアルリサイクル率84.4%	
実績に対するコメント	資源循環センターでの分別をさらに細かくすることで、リサイクル量を増やしました。マテリアルリサイクル率は昨年の82.8%から、84.4%に向上しましたが、目標である88%には達しませんでした。第4四半期では、3ヶ月連続で90%以上となりました。	△
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 工場におけるリサイクルの推進	
2011年度目標	生産・施工廃棄物のマテリアルリサイクル率90%	

2010年度目標	電子マニフェスト化率100%	
2010年度実績	電子マニフェスト化率71.7%	
実績に対するコメント	昨年度の導入率7.6%から大幅に実績を伸ばし、71.7%に達しましたが、目標である100%には達しませんでした。	△
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理管理体制 <input checked="" type="checkbox"/> 「ぐるっとメール」の運用による廃棄物の管理 <input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理と土壌汚染に関するリスクへの対応	
2011年度目標	電子マニフェストの運用を維持しつつ、今後も適正処理に努めます。	

2010年度目標	軽量鉄骨戸建(B型)の新築施工現場廃棄物 1200kg/棟(各型式ごとの目標値を各事業所で達成)	
2010年度実績	1281kg/棟	
実績に対するコメント	石膏ボードの歩留まり向上等による発生量削減を進めましたが、どの型式も大幅な削減とはなりませんでした。ICタグ導入による実態把握の精緻化と合わせ、削減策の検討・実施を進めます。前期1314kg/棟と比較し、33kg/棟削減しました。	△
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場でのゼロエミッション <input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場のリデュース	
2011年度目標	1200kg/棟	

2010年度目標	木造戸建(シャワーウッド)の新築施工現場廃棄物 1500kg/棟(各型式ごとの目標値を各事業所で達成。)	
2010年度実績	1717kg/棟	
実績に対するコメント	石膏ボードの歩留まり向上等による発生量削減を進めましたが、どの型式も大幅な削減とはなりませんでした。ICタグ導入による実態把握の精緻化と合わせ、削減策の検討・実施を進めます。前期1713kg/棟と	×



	比較し、ほぼ変わらず。	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場でのゼロエミッション <input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場のリデュース	
2011年度目標	1500kg/棟	

2010年度目標	重量鉄骨賃貸(βシステム)の新築施工現場廃棄物 1200kg/棟(各型式ごとの目標値を各事業所で達成。)	
2010年度実績	1366kg/棟	×
実績に対するコメント	石膏ボードの歩留まり向上等による発生量削減を進めましたが、どの型式も大幅な削減とはなりませんでした。ICタグ導入による実態把握の精緻化と合わせ、削減策の検討・実施を進めます。前期1353kg/棟と比較し、13kg/棟増加しました。	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場でのゼロエミッション <input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場のリデュース	
2011年度目標	1200kg/棟	

2010年度目標	軽量鉄骨賃貸(シャーマゾン)の新築施工現場廃棄物 1000kg/棟(各型式ごとの目標値を各事業所で達成。)	
2010年度実績	1134kg/棟	△
実績に対するコメント	石膏ボードの歩留まり向上等による発生量削減を進めましたが、どの型式も大幅な削減とはなりませんでした。ICタグ導入による実態把握の精緻化と合わせ、削減策の検討・実施を進めます。前期1143kg/棟と比較し、9kg/棟削減しました。	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場でのゼロエミッション <input checked="" type="checkbox"/> 新築施工現場のリデュース	
2011年度目標	1000kg/棟	

2010年度目標	「ICタグ」を使った新築施工現場廃棄物の回収・管理システムを2010年度中に全国で運用	○
2010年度実績	「ICタグ」システムを全国で導入	
実績に対するコメント	「ICタグ」システムを全国で導入	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 「ICタグ」を利用した次世代ゼロエミッション	
2011年度目標	データの精緻化により削減施策の実効性を判定。削減活動を加速していきます。	

2010年度目標	解体ゼロエミッション達成をねらいとした、独自の間処理業者の優良性評価システムの開発	○
2010年度実績	中間処理業者の評価実施。	
実績に対するコメント	一部の間処理業者の施設や管理状況を調査し、評価を実施しました。	
関連する取り組み	<input checked="" type="checkbox"/> 解体廃棄物の再資源化への取り組み	
2011年度目標	評価システムのレベルを向上し、効率改善を図る	

■ その他

自己評価の基準について

○…目標を達成 △…達成できなかったが目標に近づいた ×…目標に向けた改善ができなかった

事務作業時の資源循環

2010年度目標	グリーン購入率90%	△
2010年度実績	グリーン購入率88.7%	
実績に対するコメント	オリジナル「グリーン購入指針」をもとに、物品購入担当者への徹底を強化し、昨年のグリーン購入率72%を上回る実績を達成しましたが、目標には届きませんでした。	
関連する取り組み	▶「グリーン購入」の推進	
2011年度目標	事業所購買担当者との勉強会を実施するなどし、グリーン購入率のアップを図ります。	

化学物質の管理

2010年度目標	「ケミケア仕様」の普及促進	○
2010年度実績	135棟の建設実績	
実績に対するコメント	長期優良住宅先導事業を中心に展開を進めました。	
関連する取り組み	▶「化学物質ガイドライン」の運用と管理 ▶「ケミケア仕様」の普及	
2011年度目標	商品レベルでの標準化など、さらなる普及促進に取り組む	

従業員による環境行動

2010年度目標	オフィスのCO <sub>2</sub> 削減計画を含む事業所目標の見直し	△
2010年度実績	見直しを進めましたが、具体的な目標設定には至りませんでした	
実績に対するコメント	事業所目標の見直しに向け、具体案の検討を進めました。	
関連する取り組み	▶ 事務所での省エネ推進活動	
2011年度目標	「事業活動、生産時のCO <sub>2</sub> 削減」と合わせて取り組みます。	